

令和 6 年度
共同生活援助事業所
アットホームのぞみ

事業報告書

社会福祉法人あけぼの福祉会

目 次

I. 利用者の状況.....	P2～3
1. 入退居状況	
2. 事業所と担当職員の状況	
II. 職員の状況.....	P4
職員の異動について	
III. 研修／会議等の状況.....	P5
1. 職場外研修／会議等の実施状況	
2. 職場内研修の実施状況	
IV. 大空会(利用者本人の会)年間行事の実施状況.....	P5
V. 生活支援の実施状況.....	P5～6
1. 地域移行者への支援について	
2. 事業所会議の実施	
3. 夜勤職員の配置について	
4. グループホーム利用者の会(大空会)のバックアップ	
5. 記録管理システムの導入について	
6. 事業実施内容について	
VI. 健康管理の実施状況.....	P6～7
1. 日常生活における予防及び衛生	
2. 日常の健康管理	
3. 健康診断の実施と各種検診の受診	
4. 新型コロナウイルス感染症対策について	
VII. 避難訓練について.....	P7

I. 利用者の状況

1. 入退居状況(アットホームのぞみ、ホームつばさ、ヴィラ・コスモス、ホーム翔、ラフォーレ、えみしあ)

月	現員	入退居状況		異動の状況
		入所	退所	
4	37	8		岩内あけぼの学園から8名の方が地域移行し、4月1日から新たに創設したグループホーム「えみしあ」に男性4名、女性3名の計7名、アットホームのぞみに女性1名が新たに共同生活援助のサービスを開始する。
5	37			
6	37			
7	37			
8	37			
9	37			
10	37			
11	38	2	1	岩内あけぼの学園から2名の方が地域移行し、ヴィラコスモスに女性2名が新たに共同生活援助のサービスを開始する。 サテライトを利用していた女性1名がサービス終了
12	37		1	男性1名がサービス終了
1	37			
2	37			
3	37			
合計		10	2	

2. 事業所と担当職員の状況(令和7年3月31日現在)

あけぼの福祉会 共同生活援助事業所

管理者 小野 裕

①アットホームのぞみ

利用 者 名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
A・Yさん K・Tさん T・Kさん N・Kさん N・Tさん N・Yさん	Y・T O・Y	E・M S・M	K・M Y・F M・M Y・Y	K・M(兼) M・K S・S M・Y K・Y O・M S・K

②ホームつばさ

利用 者 名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜 間)
A・Hさん O・Mさん K・Yさん K・Sさん K・Yさん S・Oさん T・Yさん	Y・T O・Y	E・M S・M	M・N Z・M	M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y	K・M O・T I・K

③ヴィラ・コスモス

利 用 者 名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
I・Tさん K・Kさん K・Yさん K・Yさん S・Mさん T・Yさん	Y・T O・Y	E・M S・M	K・M Y・Y M・M	K・M(兼) M・K S・S M・Y K・Y O・M S・K

④ホーム翔

利 用 者 名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜 間)
A・Tさん I・Hさん O・Mさん S・Yさん H・Yさん W・Yさん	Y・T O・Y	E・M S・M	F・K S・M M・M	M・K K・M(兼) S・S M・Y K・Y O・M M・Y	K・M O・T I・K

⑤ラフォーレ

利 用 者 名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜 間)
O・Kさん K・Tさん H・Yさん M・Hさん W・Sさん	Y・T O・Y	E・M S・M	N・T M・Y M・M	M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y S・K	K・M O・T I・K

⑥えみしあ

利 用 者 名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜 間)
I・Kさん U・Kさん S・Hさん M・Mさん A・Tさん E・Hさん N・Yさん	Y・T O・Y	E・M S・M	I・T K・H	M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y S・K	K・S T・Y K・H(兼)

※個人情報の取り扱いにご配慮下さいますよう、よろしくお願いいたします。

Ⅱ. 職員の状況について

○令和6年度職員の異動について

・令和6年 4月 1日付 事業所異動【岩内あけぼの学園からアットホームのぞみ】

I・T 主任生活支援員

K・H 主任生活支援員 兼生活支援員(夜間)

M・Y 生活支援員

M・H 生活支援員

M・T 支援ワーカー

T・Y 生活支援員 (夜間)

T・K 支援ワーカー ※岩内あけぼの学園兼務

・令和6年 7月22日付 K・S 生活支援員 (夜間) 新規採用 ※岩内あけぼの学園兼務

・令和6年 8月 1日付 S・K 生活支援員 新規採用

・令和7年 1月 8日付 E・M 看護師 新規採用

・令和7年 1月20日付 S・M 看護師 新規採用

【退職者】

・令和6年 6月30日付 T・K 支援ワーカー

・令和6年10月 7日付 M・T 支援ワーカー

・令和7年 3月31日付 S・H 支援ワーカー

・令和7年 3月31日付 M・H 生活支援員

Ⅲ. 研修／会議等の状況

1. 職場外研修／会議等の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員名
6	17～18	令和6年度全道施設長研修	札幌市	M・K
8	9～10	施設見学	砂川市	管理者・MK・YT
8	9	令和6年度3圏域合同フォローアップ研修	札幌市	O・Y
9	18	令和6年度防災業務関係者研修	倶知安町	Y・T
9	27	令和6年度知的障がい関係支援員研修	札幌市	S・S
9	10～11	令和6年度災害対策研修	札幌市	M・Y S・S
10	17	令和6年度 集団指導	倶知安町	M・K
11	1	令和6年度知的障がい関係職員研究大会	札幌市	K・Y S・K
11	5～7	全国介護事業者連盟全国大会	東京都	M・K
11	21	令和6年度権利擁護セミナー	札幌市	O・Y K・M M・K

12	5～6	障がいのある方の交際・結婚・子育て支援セミナー	札幌市	M・K Y・T
1	16～17	グループホームスタッフ研修会	札幌市	管理者 M・K
2	17～18	令和6年度全道施設長研修	札幌市	M・K

2. 職場内研修の実施状況

- ・令和6年 4月24日 BCP 研修（職員会議後）
- ・令和6年 6月11日 GH 感染症対策委員会・食中毒予防について
- ・令和6年 9月 6日 GH 感染症対策委員会・新型コロナウイルスについて・防護服着脱訓練
- ・令和6年10月17日 身体拘束適正化委員会
- ・令和6年12月11日 GH 感染症対策委員会・ノロウイルスについて
- ・令和7年 3月11日 GH 感染症対策委員会・ノロウイルスについて・吐物処理訓練
- ・令和7年 3月24日 BCP（自然災害）訓練・見直し
- ・令和7年 3月27日 権利擁護研修会（あけぼの学園で行った研修に参加）

※月1回虐待防止委員会実施

IV. 大空会(利用者本人の会)年間行事の実施状況

月	活動内容	月	活動内容
4月	役員会	10月	役員会
5月	定例会 交流会（松尾ジンギスカン）	11月	
6月	役員会	12月	
7月		1月	役員会
8月		2月	定例会 新年会（マリンカフェ）
9月		3月	役員会

V. 生活支援の実施状況

1. 地域移行者への支援について

令和6年度は新たに10名の方が共同生活援助(グループホーム)のサービスを開始し、行動障がいや ADL が低下している方の支援や専門性のスキルアップに繋げる為、支援方法の検討や特性の理解を目的に定期的なミーティングを開催し、全体で情報共有を行った。

2. 事業所会議の実施

毎月、利用者状況を聞き取り、議題の調整や課題の整理を行い、職員会議等で協議した。また、各グループホームに係るスタッフが随時、ショートミーティングを行い業務の統一を図った。

3. 夜勤職員の配置について

円山地区には常時2名と大浜地区には勤務サイクルで1～2名夜勤職員を配置した。なお、大浜地区の夜勤者については近隣のグループホーム（アットホームのぞみ、ヴィラ・コスモス）の急病等緊急時の対応も行うこととし、夜間における安全体制を確保した。

4. グループホーム利用者の会（大空会）のバックアップ

利用者の会（大空会）が発足して28年目を迎え、利用者自身が地域での生活のことや自分たちの将来について考える場、またスポーツや余暇を通して交流を図る場として大切な役割を担っている。役員会と定例会を隔月で開催し、円滑に話し合いが進むようにサポートを行った。

5. 記録管理システムの導入について

令和6年度から記録管理システム(ケアカルテ)を導入し、利用者の方の日常の生活状況をきめ細かく把握し、記録することで今後の健康管理や個別ケース等の支援に繋げた。
また、操作方法の周知の他、記録項目の随時追加し、アップデートすることで記載の簡略化を図った。

6. 事業実施内容について(定例会・役員会は除く)

① 大空会観桜会及び交流会

日時：令和6年5月3日

場所：松尾ジンギスカン

② 大空会新年会

日時：令和7年2月7日

場所：マリンカフェ (旧日本海)

③ 個人旅行 (道外)

9月18日～20日 東京旅行 (5名)

10月29日～ 1日 広島旅行 (5名)

10月 1日～ 4日 韓国旅行 (2名)

④ その他の行事 《個人実施状況含む》

4月16日 健康診断実施

4月25日 札幌市へ外出～買物 (2名)

5月13日 集団胃がん検診 (岩内町実施)

5月23日～24日 函館旅行 (1名)

6月 6日～ 7日 旭川市へ外出～墓参り (1名)

6月23日 寿都町へ外出～墓参り (1名)

7月25日～26日 函館旅行 (1名)

8月23日 余市町へ外出～買物 (1名)

8月29日 石狩市へ外出～墓参り (1名)

9月 8日 余市町へ外出～パークゴルフ大会 (4名)

9月 9日 小樽市へ外出～買物 (2名)

9月11日 小樽市へ外出～買物 (1名)

9月15日 札幌市へ外出～余暇 (1名)

9月26日～27日 札幌旅行 (1名)

10月 9日 小樽市へ外出～買物 (1名)

10月13日 小樽市へ外出～買物 (4名)

10月23日 札幌市へ外出～余暇 (1名)

12月 5日～6日 伊達旅行 (3名)

12月22日～23日 札幌旅行 (1名)

3月15日 余市町へ外出～買物 (1名)

3月26日 小樽市へ外出～買物 (3名)

VI. 健康管理の実施状況

1. 日常生活における予防及び衛生

- ① 手洗い及び手指消毒を励行する事とし(玄関及び洗面所にはアルコール消毒機器を常設)また、手拭用のペーパータオルを用意し、間接的な感染を防いだ。
- ② 入浴時には全身の怪我や皮膚の状態を観察する等、異常があれば迅速に対応した。
- ③ 食品や調理器具等の衛生管理の徹底、温度や湿度の調整に心掛け、食中毒等の予防に努めた。
- ④ 怪我や事故等が予測される環境については、速やかに環境整備を行った。

2. 日常の健康管理

- ① 令和7年1月に2名の看護師を採用した。通院の調整や引率の他、各ホームへの巡回の頻度を増やし、利用者の方の健康観察及び感染症防止対策の強化に繋げた。
- ② 体重測定及び血圧を測定し、健康状況の把握に努めた。また、毎朝のバイタルチェックで発熱や風邪症状等が見られた際は、外出の頻度や周囲の感染者状況等を含め、管理職やサビ管、看護師に報告し、通院や検査の有無を検討し、迅速に対応した。
- ③ 感染症予防のマニュアルを活用し、感染拡大防止に努めた。尚、インフルエンザワクチンの接種の他、希望者にはコロナウイルスワクチンの予防接種を行った。
- ④ 通院後の対応や見守り、静養等はサビ管や看護師、支援ワーカーが連携し、細心の注意を払い悪化を防いだ。

3. 健康診断の実施と各種検診の受診

- ① 年1回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、肺癌、結核、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。
- ② 町内の歯科に協力を依頼し、歯科検診および治療に努めた。また、検診時に歯磨きの指導や義歯の装着について、助言を頂き口腔内の清潔を確保した。

4. 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 毎日の検温や体調管理を行い、外出時にはマスクの着用、帰寮した際には手指消毒の徹底、また日々建物内の消毒を行い感染予防に努めた。
- ② 面会については、玄関先での短時間の面会とし、37℃以上の方の立入りは禁止した。
- ③ 5類に移行し規制緩和が行われたが、5月に2名、令和7年1月には12名の利用者の方がコロナウイルスに感染した。感染症対策マニュアルやBCPマニュアルに沿って住み分けや食事提供、健康管理を継続し、重症化する利用者の方はいなく、療養期間を経て復帰した。

VII. 避難訓練について

- ① 年4回、火災及び風水害を想定(夜間想定も含む)した避難訓練、通報訓練を実施し、消防署への報告を行った。その他、津波や地震を想定した避難訓練を2回行った。
- ② 避難場所、避難待機場所を整備し、日常的に災害についての意識付を行った。
- ③ 原子力災害について、岩内町防災連絡会に出席し意識の向上を図った。
- ④ BCP研修と訓練を行い、マニュアルの見直しと更新を行った。